

児童生徒質問紙からみえてくる東員町の子どもたち（令和7年度）		東員町	三重県	全国	①
【基本的信頼感】 ①友達関係に満足していますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【基本的信頼感】 ②学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【基本的信頼感】 ③普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。（よくある、ときどきある）	【基本的信頼感】 ④困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）		
【自己肯定感】 ⑤学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【自己肯定感】 ⑥学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【自己肯定感】 ⑦人が困っているときに、進んで助けていますか。（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【自己肯定感】 ⑧自分には、よいところがあると思いますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）		
【意欲】 ⑨学校に行くのは楽しいと思いますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【意欲】 ⑩将来の夢や目標を持っていますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	【自己有能感】 ⑪人の役に立つ人間になりたいと思いますか。（当てはまる）	【自己有能感】 ⑫自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）		
〇県・国と比べて、子どもたちは友だちと満足した関係が築けている割合が高い結果でした。また、昨年度と同様に他者を信頼することを基礎として、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている割合も高く、日常において相互に相手を大切にしよう関係ができています。（①・②・③） 〇困りごとや不安があるときに相談できる値が高く、学校が子どもたちにとって安心感がある場所であることがいえます。（④） 〇「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」項目の肯定割合が県・国と比較して高いことから、授業を含む様々な場面で主体的に学ぶ機会が充実していると捉えています。自ら取り組む経験は、自己成長、問題解決能力、主体性、やり遂げる力、そして社会性を育む上で非常に重要です。これらの経験が、学んだ知識を実践的に活用する力を養い、自己肯定感や自信を深めることに繋がっています。（⑤・⑥・⑦） 〇「自分にはよいところがある」の項目では、県・国と比べて、小中学校ともに高い結果でした。学校や教師が生徒の長所を積極的に評価し、伸ばすような指導を行っている成果であり、16年一貫教育プランに基づき、『自己肯定感』を高める取り組みを、子どもたちに関わる人たちが途切れなく行っていくことが重要であると考えます。（⑧） 〇東員町では、学校に行くことが楽しいと思える子どもが多く見られます。これは、仲間と共に安心して学校生活を送ることができているあらわれです。（⑨） 〇昨年度と同様に、県・国と比べても、将来の夢や希望をもって、意欲的に日々生きている子どもが多く見られます。将来の夢や目標があることで、あらゆることに前向きに取り組めたり、頑張る原動力になったりします。学校では、自分は何が好きなのか、得意なのか等、自分を見つめ直せるような場面を増やしています。将来を描けるということは、目標となる大人像が身近にあることや、毎日を主体的に生活できていることのあらわれだととらえています。（⑩） 〇昨年度と同様に、人の役に立ちたいと思える子どもが多く、その割合が高くなっていることは、東員町の教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）」の実現に向かって前進しているととらえています。「人の役に立ちたい」と思う感情は、子どもたちがこれから生きていく上で必要不可欠です。子どもたちが他者と関わり、新たな考えを得ることを肯定的にとらえられるのは、学校という集団で学ぶ機会のメリットだと考えます。（⑪・⑫）					

②

○「分からない」と自分から言える、他者依存ができる環境があることで、自分自身をより高めていく感情が育まれています。県・国と比較して、特に小学校の値が高くなっています。同時に、自己や他者との関わりの中で学んだことを、次の学習に生かしたり、その学びを実生活に生かしていこうとする態度も育まれています。(19・20)

児童生徒質問紙からみえてくる東員町の子どもたち（令和7年度）

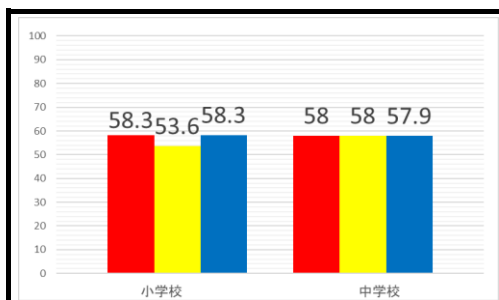
東員町

三重県

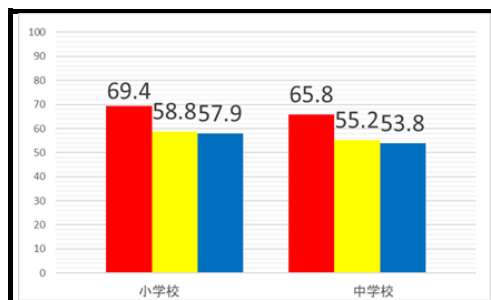
全国

③

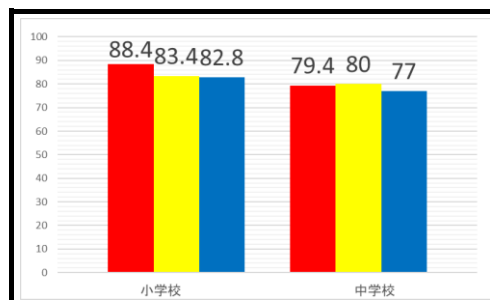
②国語の勉強は好きですか
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



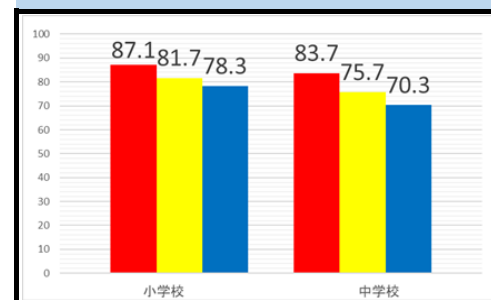
②算数・数学の勉強は好きですか。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



③国語の授業の内容は、よくわかりますか。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



④算数・数学の授業の内容は、よくわかりますか。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）

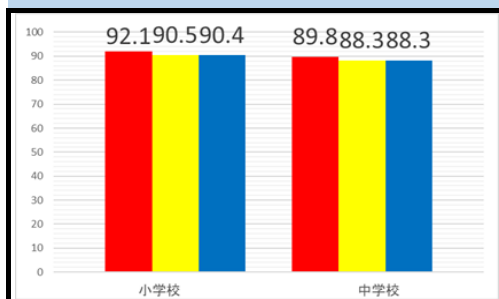


○国語の勉強が好きかという問いには、小学校・中学校において、国と比べて同水準の数値でした。国語においては、まず言葉に興味を持つことから始め、楽しく学習できる環境を作ることが大切です。具体的には、読書習慣をつけたり、言葉遊びを取り入れたり、作文や発表の機会を設けたりすることが効果的であると考えます。一方、算数・数学の勉強は好きかという問いについては、小中学校ともに県・全国の数値を上回りました。（②①・②②）

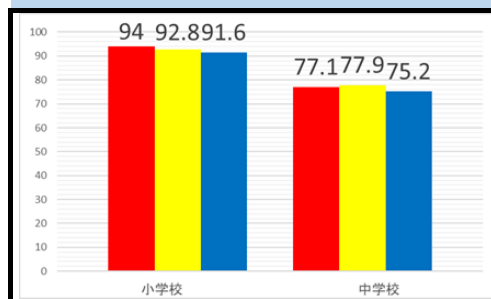
○国語の授業のわかりやすさについての問いにおいては、小学校では、県・国を上回る数値でしたが、中学校では、小学校のような伸びはありませんでした。国語については、小中の接続を意識した授業改善が必要であると感じます。算数・数学については、小中学校ともに県・国の数値を上回りました。算数・数学については、学んだことの小中の接続が適切に行われており、学びの１６年一貫教育の成果が出ています。（②③・②④）

○「授業で学習したことが将来、社会に出た時に役立つ」と回答した割合が国語では小中ともに県・国を上回り、算数では小学校は県・国を上回ったものの、中学校ではやや県を下回りました。引き続き、実生活と結びつく課題に取り組むことにより、子ども達の学びに向かう姿勢や充実感を高めたいと考えます。（②⑤・②⑥）

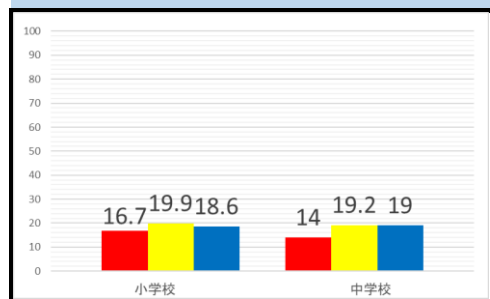
⑤国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



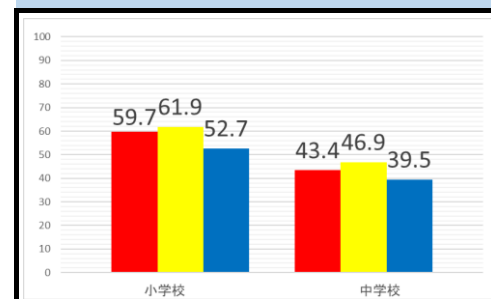
⑥算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



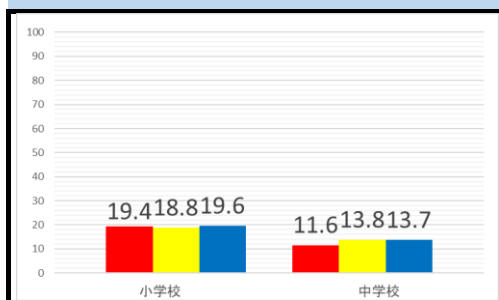
⑦学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、ネット学習含む）（全くしない、30分より少ない）



⑧土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、ネット学習含む）（全くしない、30分より少ない）



⑨学校の授業以外に、普段（月～金）、１日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。（遊びなどの目的に使う時間は除く）（１時間以上）



○平日に勉強を「全くしない、30分より少ない。」と回答した割合は、小中学校において、県・国より低い数値になっていますが、休日に勉強を「全くしない、30分より少ない。」と回答した割合は、県より低く、国より高い数値となっています。家庭学習は、学校の授業で学んだことを振り返ったり復習したりすることで理解を深めるために必要な活動です。家庭学習の意義を改めて説明し、家庭学習の具体例の提示やオンライン教材の活用を推進することで改善を図ります。（②⑦・②⑧）

○平日のICT機器を使った勉強時間に関する問いについては、小学校は県・国と同水準の数値となっていますが、中学校になると県・国よりも低い数値となっています。家庭学習において、ICT機器を活用することで、子どもたちは主体的に自分に合った学習内容や方法を決定し、授業ではできないような学習に挑戦できます。また、家庭学習の成果を学校で共有することで、学習の深化や、教員と児童生徒、保護者の間で学習状況を共有し、連携を深めることが期待できます。今後もICT機器を有効活用した、児童生徒への適切な家庭学習の提供を行うと同時に、保護者に向けて情報発信を積極的に行っていきます。（②⑨）